

プレスリリース

intersolar India 2018

2018年12月11日～13日 インド・バンガロール国際展示場

第10回目を記念する Intersolar India、成功裏に幕を閉じる 「The smarter E India」がもたらす明るい未来

2018年12月14日

ムンバイ／プフォルツハイム／フライブルク、ソーラー産業の最先端を行く見本市と会議 Intersolar India は、2018年12月13日に幕を閉じ、カルナータカ州のテクノロジー・ハブとして、名を上げた。13か国から訪れたビジネス担当者や出展関係者は、展示フロア、バイヤー・セラーフォーラム、カンファレンス、無料ワークショップ、そして見本市初日の目玉である10周年記念ネットワーキングイベントなど、さまざまな機会を利用し、ネットワーク作りに勤しんだ。参加者たちは州都ベンガロールのバンガロール国際展示場で、レベルの高い会議、展示会プログラム、多くのパートナーイベントを楽しんだ。

2019年11月、Intersolar India は開催地をバンガロールに戻し、再生可能エネルギーの将来についてより深い見識を提供する。さらに、変わりつつあるインドのエネルギー世界のニーズに対応すべく、新エネルギー世界に向けたインドのイノベーション・ハブ「The smarter E India」の一部となる予定である。「The smarter E India」は、業種を横断したエネルギーソリューションと技術を提供し、ソーラーエネルギー貯蔵と電気モビリティ産業の相互作用をもたらしている。「The smarter E India」は、有名な Intersolar India、ees India、Power2Drive India を1つに統合したものだ。この見本市トリオは、2019年11月27日から29日にかけて、カルナータカ州の州都にあるバンガロール国際展示場で行われる。

Mercom India Research によると、インドの累積太陽光発電設備は6.6 GWに達し(2018年第3四半期)、大規模プロジェクトが5,382 MW、屋上設備が1,240 MW(27%)を占めている。Mercom Capital GroupのCEO Raj Prabhu氏は、国内の太陽光発電の見通しについて、長期的に見ても明るいままであると語った。国内のエネルギー変換は進み続け、2018年は、新たに上乗せとなる容量の50%以上を太陽光発電が占める最初の年になるかもしれない。Intersolar India とそのナレッジパートナーである Mercom India Research は、今年のイベントでインドのソーラーマーケットに関する白書を無料で公開しており、そこでインドのソーラー市場を牽引する要因や、同市場が直面する課題について詳しく説明している。

Intersolar India のハイライト(2018年12月11日～13日、バンガロールにて開催)

Intersolar India 2018 は、太陽光の主要都市カルナータカの州都バンガロールで10周年を迎え、大成功を収めた。ムンバイで8年間開催した後、南に移動したことは現在の市場動向に従った戦略的決断であった。同イベントは2018年12月11日に開幕した。公式の点灯式、開会式から始まり、政府高官や太陽光の権威による基調講演も行われた。見本市と会議の初日には、主要VIP、会議の代表者、出

展責任者を迎えた 10 周年記念のネットワーキング・イベントで締めくくられた。ハイレベルのイベントプログラムとナレッジパートナーのスペシャル・ワークショップは、刺激と話題に富んでおり、参加者たちは、3 日間にわたり、カンファレンスセンターや展示フロアにある無料のイノベーション・ステージで、太陽光とエネルギー貯蔵業界の最新動向と市場を牽引する主な要因について多様な洞察を得た。

前回同様、バイヤー・セラーフォーラムによって、出展社と主要バイヤー間の予定の商談で焦点を絞った B2B のやり取りが増加した。中国、ドイツ、韓国、スイス、インドのケララ州から多くの国や州のパビリオンが設置された。

また、スタートアップ・パビリオンでは、新興企業の 5 社がイノベーションとアイデアを紹介した。

Intersolar India は、あらゆる業界の専門家が出会い、意見を交換し、課題と解決策を議論し、太陽光、エネルギー貯蔵、電気モビリティ産業の利益を促進していくための最適なプラットフォームを提供した。

次回 The smarter E India の予約を！(2019 年 11 月 27 日～29 日、バンガロールにて開催予定)

再生可能エネルギー、脱炭素化、デジタル化への移行は、エネルギーの世界に永続的な変化をもたらしている。旧来のエネルギー体系は進歩がなく、中央集権的であって、ほんの一握りの大規模な化石燃料プラントや原子力発電所が消費者にエネルギーを供給するというものであった。太陽光発電と風力発電を主体にした、積極的な参入者を多く擁する新しい分散型システムが現在登場している。ますます増え続ける住宅所有者や企業が「Prosumer」になりつつある。「Prosumer」とは、自らエネルギーを生み出し、消費し、そして貯蔵する人々のことをいう。さらに、これまで分けられていた電力、暖房、冷房、そして移動の各分野における相互連携は一層増してきている。

エネルギー産業や発電の近年の発展は、インドでもまた明らかなことだ。再生可能資源に向けた政府の動きを受け、電力セグメントは大きな変化を遂げている。インドでは、2022 年までに 175 GW の再生可能エネルギー容量を確保するという目標が、2018 年 7 月に政府によって設定された。具体的には、太陽光発電で 100GW、風力発電で 60GW、バイオ発電で 10GW、小規模水力発電で 5GW という分担となっている。電力消費の増加と環境問題への意識の高まりは、代替手段のある、環境にやさしい発電ソリューションを支えている。

新エネルギー世界に向けたインドのイノベーション・ハブ「The smarter E India」は、インドにおけるエネルギー世界の変化によるニーズに本気に対応している。それは、業種を横断したエネルギーソリューションと技術を提供し、ソーラーエネルギー貯蔵と電気モビリティ産業の相互作用をもたらしている。バリューチェーンに沿ったあらゆる重要分野に対応する「The smarter E India」は、エネルギーの未来に関する現地の専門家と国際的なステークホルダーを引き合わせる。2019 年から、「The smarter E India」は、有名な Intersolar India、ees India、および Power2Drive India を一つに統合する。この見本市トリオは 2019 年 11 月 27 日から 29 日にかけて、カルナータカ州の州都バンガロール国際展示場で開催される。

intersolar India の詳細情報はこちらから：www.intersolar.in

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: japan@intersolarglobal.com

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語)